

いぬはりに 環境 整備

JAKUETSU close-up
遊びながら集中力とバランス感覚を養う
クライミングウォール

CASE③
長期休園のない保育園でも施行可能な
安全&快適な大規模リフォーム

JAKUETSU opinion
子どもにやさしい園舎環境づくり②
サッシや手すりで発生する身近な危険を徹底回避!



「がんばればできる!」が自信につながる

冒険型スポーツ遊具 クライミングウォール

小さな子どもから大人まで、だれもが気軽に楽しめる人気上昇中のスポーツ、フリークライミング。本来は自然の岩を登る、ハードなスポーツでしたが、人工クライミングウォールが作られるようになってからは身近な存在に。

ジャクエツは、フリークライミング国際ルートセッターの東秀磯さんとともに
幼稚園・保育園の子どもたち向けのクライミングウォールを開発。

実際に園で導入し、子どもたちが楽しく取り組んでいるという、さいたま市の大谷口幼稚園を訪ねました。



「どこまで行けるかな?」ゴールへの目標を定め、まずは両腕を伸ばしてグリップをしっかりキャッチ。冒険に出発だ!



(上) パステルカラーのかわいらしい外壁が印象的な大谷口幼稚園。(下) 最近改修したばかりの園舎内は、清潔感とぬくもりあふれる快適な空間。



スタートからゴールを目指し、トラバース（横渡り）に挑戦。途中で落ちたら、列の後ろに並んで、スタートからやり直し。何度でもトライしたくなるほど、みんな夢中！

（右）「えーと、右足はここに置いて、右手はこっちなかな？ そんな子どもたちのつぶやきが聞こえてきそう。遊びながら、自然に判断力や集中力、バランス感覚を養い、筋力向上にも貢献するのがクライミングウォールの魅力。

「先生、登れるようになったよ！」「もう一回やってみる！」

元気な明るい声が園舎に飛び交う、埼玉県さいたま市の大谷口幼稚園。玄関横のエントランスに設置されているクライミングウォールは、いつも子どもたちに大人気です。

園舎の大規模な改修工事を実施し、昨年末、新たに生まれ変わった大谷口幼稚園では、改装にともなってクライミングウォールを設置。近年の子どもたちの体力低下を懸念していた園長が、ジャクエツの展示会に來場したのをきっかけに、クライミングウォールの存在やその運動効果を知り、導入を決めました。

子どもたちは、クラスの外遊び時はもちろん、朝、登園してみんなが集まるまでの時間にもさっそくトライ。みんなの日常の園生活に、クライミングウォールは自然に溶けこんでいるようです。

「年少、年中、年長では、横渡りするときのスピードやグリップ（持ち手）の持ち方、足の運び方がかなりちがってきますね」と観察する園長。「運動が苦手な子、得意な子、だれもが自分のやり方で挑戦し、できないことができるようになっていく。それがクライミング特有のおもしろさなのでしよう」と、子どもたちの取り組みをやさしく見つけていました。



ウォールの右側と左側、グループに分かれて一人ずつ同時にスタート！出会ったところでジャンケンし、勝ったら進み、負けたらやり直し。盛り上がること間違いなしのユニークなルール設定。



東秀磯 (Hideki Higashi)

1958年和歌山県生まれ。日本初の国際山岳連盟インターナショナル・ルートセッターとして、国内および海外で、さまざまなクライミング競技用のルートを作る。クライミングウォールの設計・施工における第一人者でもある。岩場でも、これまで国内で新ルートを約200本開拓。全国各地で開かれるクライミング講習会や強化トレーニングなどの講師・コーチを務める。日本山岳協会クライミング委員、日本フリークライミング協会(JFA)公認チーフルートセッター、国際アウトドア専門学校(i-nac)主任講師。

ジャクエツ・クライミング ウォールシリーズ開発者 東秀磯さん

ジャクエツとともにクライミングウォールを開発している東秀磯さんは、日本で数人しかいない、国際ルートセッター。15歳から山歩きを始め、多くの名峰に挑戦。フリークライミングとの出会いは20歳ごろ。山岳会に入り、岩場のルートで体験を積み重ね、クライミングウォールの魅力を知る。現在は多くの人たちに伝えるべく、国内外を奔走中。"おもしろい遊具を作って、子どもを部屋からひっぱり出した"と、今回の開発動機を語る。

遊びながら養う、しなやかな筋力とバツグンの集中力

欧米では、体育の授業にも取り入れられているフリークライミング。子どもが取り組むことで、どのような効用が期待できるのでしょうか？今回、ジャクエツとともに遊具を開発した東秀磯さんに聞きました。

＊

——フリークライミングの魅力とは？

スタートとゴールが明確で、がんばれば達成感を味わえること。そして、何度でも挑戦してみたくなるところです。子ども向けから大人向けまで、さまざまな難易度が設定できるのも魅力ですね。

——今回開発した、子ども向けクライミングウォールの特長やこだわりは？

子どもたちにとってフリークライミングは「がんばったらゴールできるんだ！」と

いう体験の積み重ねが大事。小さな冒険にワクワクしながら「やさしすぎず、難しすぎない」レベルのルートからチャレンジし、クリアする。その自信が、次のステップをめざす気持ちにつながります。

とは言っても、まずは子どもたちの「やりたい！」というモチベーションを誘発することがポイント。今回、開発した遊具は、ぐるっと回るサークルタイプやアスレチック感覚のタイプ、空色のウォール（壁）をトラバース（横渡り）するタイプなど、それぞれデザインや色にもこだわりました。また、グリップの色分けて「年少はすべての色を使う」、「年長は黄色だけ使う」など、各年齢に合わせたレベル設定ができます。

——子どもたちがクライミングに取り組むことで、期待できる効果とは？

体を支える手・足・背中筋力発達に貢

園の規模に応じて選べるのが嬉しい ジェクエツクライミングシリーズ



クライミングウォール（空）

- J7H014K ¥2,100,000 税込
 □サイズ：370×10×高さ265cm
 □材質：枠/鉄板 / FRP グリップ/合成ゴム
 ■スタート・ゴールが明確なので、「挑戦意欲→クリア→達成感」が得られる」遊具です。
 ■園舎の壁画や園庭のフェンスなどに沿って設置できる形なので、設置場所をとりません。
 ■ケガ防止の為、下部にはクッションマット付き
 □運賃別途 □組立費別途 □据付工事費別途



サークルクライミングウォール（太陽と鳥）

- J6H013K ¥1,890,000 税込
 □サイズ：直径150×高さ232.2cm
 □材質：本体/FRP グリップ/合成ゴム
 ■スタート・ゴールが明確なので、「挑戦意欲→クリア→達成感」が得られる」遊具です。
 ■珪砂吹き付けウレタン塗装仕様で、耐摩耗性に優れています。
 ■ケガ防止の為、下部にはクッションマット付き
 □運賃別途 □組立費別途 □据付工事費別途



クライミング ZOO

- J6H012K ¥2,415,000 税込
 □サイズ：高さ300cmまで可能です。
 □材質：本体/FRP グリップ/合成ゴム
 ■人気のあるクライミングをかわいらしい動物で表現しました。
 ■ゴムステップとロープ渡りにより、年少児でも横方向の動きがスムーズに行えます。
 □運賃別途 □組立費別途 □据付工事費別途



「ルートを確認しながら、グリップをしっかり掴んで進む。ゴールまであと少し！」園児をやさしく指導する東さん。

献し、柔軟性やバランス感覚、瞬発力が向かいます。それに、注目してほしいのが、クライミングをしているときの子どもたちの顔！あんなに真剣な表情は見たことがない、と言われるほど、どの子も目標に向かって気持ちが強くなり、集中力が養われます。加えて、「どうやって下落ちないか」

と手足の動きを考えることで、想像力や判断力も身につく、手のひらや指を使うことで右脳の活性化にもつながるといわれています。

——幼稚園や保育園でクライミングウォールを指導する先生方にアドバイスを。

最初は、先生がうまく声をかけ、「やってみようかな」と子どもの意欲をかきたててほしい。シンプルな遊び方は、順序よく並んで一人ずつスタートから挑戦し、ゴールまでクリア。途中で落ちたら、また列の後ろに並んで再チャレンジ。ほかにも、スタート側とゴール側、子どもたちがそれぞれのグループに分かれて両側から同時にスタート、真ん中で2人がジャンケンし、負けた子が降りるなど、遊び方はいろいろ。定期的にイベントを開くのも楽しいアイデアですね。

春、夏、冬の長期休園がない保育園。
老朽化であちこちリフォームしたいが
安全で、かつ日常保育に支障なく
大幅改修するのは無理でしょうか？

富山県 双葉保育園

ご提案

おもに日曜を利用した施工で改修可能です。
先生と子どもの立場からプランを提案します。
まずは、ご相談ください。

春休みや夏休みなどの長期休園がなく、土曜日も開園している保育園。
「改修はしたいけれど、工事をする時間がない」と悩む心配はありません。
ジャクエツ独自のノウハウから生まれた、日常保育にできるだけ支障がないよう
配慮した施工で、こんなに明るく清潔感いっぱいの園舎に生まれ変わります。



(上) 花壇や植栽、タイヤの階段などを組みこんだ、双葉保育園オリジナル築山が目を引く、楽しい園庭。(下) 明るく開放的な玄関の天井部。空から光が差し込んでいるように見えるデザイン。

Before



平成12年からスタートした大幅改修
使い勝手や安全性も向上し、
入園者増へ

富山県高岡市にある双葉保育園は、昭和48年10月に開設され、今年で34年目を迎える、温もりと笑顔あふれる保育園。一人ひとりが大地に根をはり、大きな夢をはぐくもう、たくましい大木に育つよう、を基本理念とし、園名の由来でもある「双葉」が、やがて大きな大木へと育つように、子どもたちは愛情たっぷりの環境で健やかに成長しています。

開設以来、たくさん子どもたちを見守り続けてきた園舎でしたが、平成12年、事務のIT化にともない、ジャクエツによる職員室の改修工事がスタート。それがジャクエツとご縁につながり、毎年少しずつ、日常の保育に支障がないよう、おもに日曜に集中的に施工する方法を採り、園舎のあちこちをリフォームしてきました。

現在に至るまで約7年。職員室から始まったジャクエツの改修工事は、保育室、乳児室、玄関、廊下、床、遊戯室、階段ホール、トイレ、園庭、床暖房など多岐に渡り、見た目はもちろん、使い勝手や安全性も向上し、百十人の定員いっぱいの子どもたちが集う、人気の保育園になりました。

(左ページ上) 平成12年に第一期工事として改修した職員室。壁や扉にアクリル板を使用し、廊下の様子がよく見える、明るく透明度の高い空間に。(左ページ右下) 手すりや滑り止めに対応した、安全な階段。以前の冷たいPタイルから温もりある木製へ大変身。(左ページ左下) トイレの個室には指づめ防止のドアを採用。



双葉保育園 園舎環境整備～改修の流れ

平成12年より順次、改修工事をスタート



職員室及び1F保育室の建具を改修



乳児室の改修



保育室・玄関ホール及び廊下・床・シューズボックスなどを改修



2F遊戯室・階段ホールを改修



1F・2Fトイレ改修及び屋上防水・外壁塗装工事



調乳室を改修



園庭の築山・砂場などを改修



2F保育室改修、壁面収納家具・床暖房の設置など



配管やピットの改修など

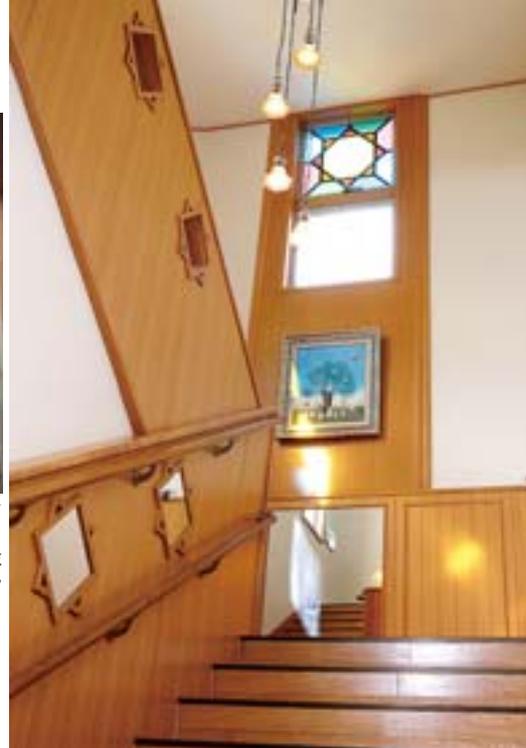


今後はサッシの改修、屋上遊び場の安全対策などを予定



(右) 改修後の階段。大人用の手すりと子ども用の手すりの間に設置された鏡がユニーク。踊り場の吹き抜けにある美しいステンドグラスがやさしい光を運び込んでいます。

Before



(右) 1階の乳児室と保育室とつながっているトイレ。アーチ型の入口が印象的。(左) 乳児室の一角にあるたたみスペース。仕切りや段差がない開放的な空間へ。

温もりが素足に伝わる木製階段
手すりと手すりの間の鏡は秘密の人気スポット

職員室の一方の壁全体が棚になり収納スペースに。ホワイトボードも棚と一体化してスッキリ使いやすい設計。



林浪子園長が長年に渡って、ジャクエツに改修工事を依頼される理由は「仕事がいねいである」「面積に余裕がない場所での空間利用の工夫がよい」「アフターフォローがよい」「全体的なイメージの統一感が出ること」など。改修によってすっきり明るく、広くなった保育室や玄関ホールは、先生や保護者たちに大好評。

一方、子どもたちが一番喜んだのは階段です。これまでの冷たいPタイルから木製素材の階段になり、ふだん素足保育を実践している当園にとっては、衛生面も気持ちよさも格段にアップ。特に、手すりと手すりの間にある、子どもたちの顔がちやうど映る高さに設置された鏡は大人気なのだそうです。

「日曜中心の施工で、日常保育への支障を少しでも減らし、ジャクエツさんとも



これまでのウェット式から、使い勝手のよいドライ式のトイレに変身。自動センサー機能付きの手洗いカウンターも設置。

Before



(左上) 1階幼児室。たたみと木製フローリングが調和している室内。子どもたちもきちんと使い分けができています。 (左下) 2階幼児室は床・棚・サッシ等全面改修によって光が差し込み、木の温もりが感じられる室内へ。



Jakuetsu Column

園児の安全を第一に、快適な環境づくりをお手伝い

「明るくなった」「広くなった」と、ご父兄の評判も非常によいよう園児数も増え、現在は定員110名の満員で、とても活気にあふれています。全体の園舎デザインを一貫して統一したことにより、多年度に渡る改修工事にはまったく見えません。園の改修は、園児たちが生活しながらの工事が通常です。だからこそ、園児の安全を第一に考えながら、お客様が安心して工事をお任せいただけること、そして美しく快適な環境をつくることをモットーに、今後もお手伝いしたいと思っています。

(環境事業部営業課長・荒木継一)

に園でも、子どもたちの安全を第一に考慮し、みんなでもうすぐ園がきれいになるね」と前向きに受け入れながら、工事の進行を見守ってきました。多年度に渡る改修で、園舎のあちこちが新しく生まれ変わります」と、園長から喜ばしい報告もいただきました。

保育園・幼稚園は、子どもたちにとってかけがえのない、大切な時間を過ごすお城のような場所。安全・安心で使い勝手がよく、デザイン性にもすぐれた幼児の環境づくりを、ジャクエツは提案させていただきます。

サッシ

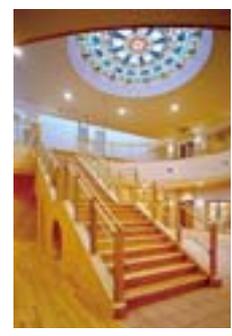
レールにつまづいたり指をはさんだり……
子どものケガの発生が意外と多い場所

部屋の空気を入れ替えたり、園庭への出入り口として活用するなど、一日に何度も開け閉めするサッシ。身近な存在だからこそ、指はさみやつまづきなど思わぬケガにつながらないよう、事前の対策がおすすめです。



毎日当たり前のように使っているのに、なかなか事故を事前に察知できない場所。たとえばサッシまわりや階段付近。子どもたちがふざけあつていてサッシの角に頭をぶついたり、ちょっとした好奇心から階段の手すりによじのぼって落下したり……。ジャクエツは、そんな子どもたちの好奇心を考慮し、行

動や心理を先読みした事故防止対策を徹底研究。「さみどり保育園」（福井県敦賀市）の実施例を紹介します。
ジャクエツが設計した「さみどり保育園」。柔らかな木の温もりに包まれた明るい園舎。



1 網戸内側にパンチングパネルを配し、子どものイタズラによる網戸破れを防止。

2 枠部分は柔らかな曲面フォルムでデザインしており、子どもがぶつかった時にもケガを防止します。

3 戸当たりの部分にはクッションゴムを設置し、子どもの指はさみを防止。

4 ノンレール設計により、レールでつまづきや溝に足をはさむ事故を回避。



階下をのぞむ踊り場の手すりは、足がかり部分から120cmを確保することで、よじのぼりによる落下事故を防止。



手すり



▲階段踊り場部分は足がかりにならないよう、あえて手すりを設置しない。



▲幅の広い階段の両側に手すりを設置し、踏みはずし等による転落事故を防止。

階段も踊り場も、子どもにとっては楽しい遊び場。ふとした瞬間に、手すりをよじのぼって落下……！ そんな事態は絶対に避けたい。そこで開発した、事故防止対策の手すりです。

安全のための手すりが
思わぬ落下事故を
まねく例も……。
本当に安全な手すりとは？



プチパステルシリーズ

保育園の2歳児担当先生と、ジャクエツのママさん設計士が
デザインした、2歳児のための家具シリーズ!!



01



02



03



04



05



06



07



08



09



10



11



01 ロッカー ソファー付き 02 トリプルラック 03 コーナーソファ用引出し付きトリプルラック 04 コーナーソファ用トリプルラック 05 コーナーソファ用本棚 900 06 コーナーソファ用テーブル 07 スタッキングテーブルキャスター付き 08 ごっこ遊びテーブル 09 ソファベッド 10 コーナーソファ 11 コーナー遊具

ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

ジャクエツのマークは幼児の安全・安心をお約束する印です。